

報告書

私たち、国際学部2年英語集中コースはアメリカへ4か月間留学しに行きました。まず、アメリカ留学をするまで多くの準備をしてきました。そして、私たちは、8月26日に新幹線で2時間かけて東京へ向かいました。それから、乗り換えて成田エクスプレスに50分ほど乗り、成田空港へ到着しました。交通費はそれぞれ自費でした。飛行機に乗る手続きをしました。そして、アメリカまでの行きは藤本先生がついて来てくださり、ミズーリ州へ行くのが初めてである私たちにとって、とても助かりました。それから私たちは藤本先生と共に約14時間飛行機に乗りました。乗り換えをしなければ、ミズーリ州のメリービルに行くことが出来ないので、最初は成田空港からミネソタ州のミネアポリス空港へ向かいました。最初の飛行機では長時間飛行機に乗りました。乗っている最中は機内食が出るのですが、その機内食の出される数がかかなり多く、ものすごくお腹いっぱいになりました。そして、そこから今度は、ミズーリ州のカンザスシティへの飛行機に

乗り換え、約2時間かかり、やっとミズーリ州のカンザスシティに着くことが出来ました。着くと、ノースウェストミズーリ州立大学の学生とノースウェストの大学のESLプログラムに関わる先生が迎えに空港まで来てくれていました。その時は、すでに夕方の4時でした。そして、カンザスシティの空港到着後、さらに2時間かけて学校へ向かいました。途中、夕食を食べるためにマクドナルドに寄りました。やはり、日本と違い、ハンバーガーの大きさは桁違いでした。それから、私たちはマクドナルドを出ていて約1時間したら学校に着きました。着いた時はもう外は真っ暗で十何時間の長旅の疲れが一気にやって来ました。着いたら、現地の学生が寮の部屋の案内をしてくれました。そして、部屋に着き、部屋を見た時の第一印象が汚くてボロいといった印象でした。それから、荷物整理がつき、シャワーを浴びようとしたところ、出発前の連絡でタオルは学校の寮が貸し出すと報告されていましたが、実際には寮に無く、しかも、ベッドのシーツ、まくら、布団も

無く慌てていました。私たちが泊まっていた寮はフランケンという寮で女子8人だけでした。国際情報の生徒は2つに分かれて違う寮にいました。アメリカに来たばかりで電話も出来なければメールも出来なかったのも、フランケンの受け付けにいた現地の学生にまだ、ままたらぬ英語でタオルやベッド用品の貸し出しについて聞いたところ、それについては分からないと言われていました。しかし、違う寮に同じ学生の学生がいると案内してもらいました。国際情報の他の生徒がいた寮はサウスコンプレックスという寮でその寮を見たらフランケンの寮とは大違いでとても綺麗な寮でした。そして、国際情報の生徒に話したところサウスコンプレックスでは、寮の部屋にあったということでした。それから、フランケンに戻って現地の学生と一緒にタオルやベッド用品を探してくれました。そして、そこでやっと見付き、私たちはその現地の学生に今でも感謝しています。今思うことは、その時、近くに藤本先生がいた方がいいと感じました。それに、2つの寮で分かれるのは良いですが、1つ

の寮に女子8人だけを固めるのは良くないと思いました。アメリカでの生活に慣れていればそういう状況は悪くないと思いますが、着いてすぐの状況でこういったトラブルを起こさないようにするべきだったのではないかなと思います。

アメリカでの生活の初日は滞在する寮のチェックインを行います。そのチェックインは現地のESLプログ

ラムの手助けをしてくれる学生がついてスムーズに手続きができるようにしてくれました。それから、アメリカで暮らす為に新学期前にする事がたくさんありました。あとは、学生1人一台普及されるノートパソコンも登録する為に現地の学生に手伝ってもらいました。それから、これから始まるESLプログラムの授業の為に教室に行って説明を受けます。ESLプログラムの先生とは最初に英会話力を確かめる為に、軽い面談を英語でやり取りします。その後、違う日にESLプログラムを受講している、クラスメイトに出会いました。中国、韓国、サウジアラビア、そして、日本人の私たちを含め国籍の違った生徒が沢山いました。その後、クラス分けの為に、英語力のテストを行います。

ESLプログラムに含まれる、現地のアメリカ人の学生と1週間で二回ほど話す制度があります。最初にESLの生徒と現地の学生数人が集まり、アイスブレイキングをして自己紹介をし合います。それから、ESLプログラムの先生が決めたカンバゼーションパートナー発表されます。そこから、お互いに合う日程を決めて始まります。

授業初めは、クラス分けから始まります。その時に教科書も普及され、今後の日程なども授業の進度の説明をされます。

授業は日本と変わらず、1週間で月曜日から金曜日まであります。1時間目から授業がある時は9時から始まるので、だいたい、朝は7時に起きます。それか身支度をして、8時に寮を出ます。それから、学校の敷地内に別の寮、授業を受ける寮、何か催し物を開催する為のホール、図書館など食堂もあります。なので、朝ごはんはその食堂で食べます。その食堂はbuffetスタイルで自分の好きな物を食べられます。しかし、朝は出ているご飯が少ないで昼や夜のように沢山の種類がありません。朝は、ベーグル、甘いスイーツ、ヨーグルト、フルーツ、パンケーキ、ポテトなどがあります。私たち良くそういった物を毎朝食べていました。それからご飯を食べて、8時半頃になるといつもの教室に向かいます。授業時間は9時から始まって終わるのは2時間50分頃で、その後は自由時間です。授業内容は、月曜日は一限が無くて、10時から始まるので朝は8時に起きて、身支度を済ませて9時に部屋を出て9時半頃まで

に朝ごはんを食べてそれから教室へ向かいます。10時から受けると12時まで授業を受けます。2時間目と3時間目はリーディングとライティングの授業を受けます。リーディング、ライティングは主にアメリカの歴史や経済、人種的な問題を教科書に沿って学びます。わたしは、授業で得るものが沢山ありました。それから昼休みに入ります。昼休みは食堂でご飯を食べます。ご飯は、ピザ、サラダ、スープ、ハンバーガー、ホットドッグ、トルティーヤなどアメリカらしい食べ物が日頃から並んでいました。その後、ご飯を食べたら教室へ戻り、13時から4時間目の授業が再開します。後半の授業はグラマーを4時間目と5時間目に受けます。グラマーは文法的なものを学びます。そのおかげで、普段分からなかった英文法の基礎が身に付きます。それから、その間に、一時間、一時間休憩が10分あります。そしたら、1日の日程は終了です。どの授業からも宿題は必ず出ます。火曜日は、一限から始まるので9時の授業に間に合うように教室へ授業を受けに行きます。一限目はTOEICの為の授業を受けます。実際には留学先でTOEICを受けて結果が約190点伸びました。それから、二時間目はリーディングとライティングを学びます。そして、昼休憩を一時間挟み、四時間目、五時間目が始まります。その時間はスピーキングとリスニングです。授業は地球の環境に関する内容でした。授業ではリスニングもします。スピーキングと

いう事で、テーマに沿った内容で準備してプレゼンをします。クラスでグループに分かれていたり1人でスピーチしたりします。クラスのみんなの前で英語を話す事で緊張感があり、何回も本番のスピーチまで練習をするので英語力が向上します。水曜日は一限が休みになります。二限からなので、朝は一限から始まる時よりもゆっくりできます。水曜日にも二、三限がリーディングとライティングです。ライティングは、教科書をテーマにジャーナルを書きます。そのジャーナルは成績に反映されます。ですが、先生が書き方を教えてくれるので、心配する必要はありませんでした。徐々に自分で書けるようになっていくのを実感する事ができました。四、五限は文法です。木曜日は、TOEICの授業が一時間目からあります。TOEICでは分厚い教科書が普及され、それを主に使用して授業を進めていきます。教科書の内容はTOEICの練習問題のようなものが載っています。そういった、問題が宿題に出て、授業で答えを合わせるということをしていました。二時間目、三時間目は、リーディング、ライティングの授業を受けます。リーディング、ライティングの授業ではほぼ毎日単語テストがあります。毎日テストをすることによって、自分自身のボキャブラリーを増やす事が出来ます。それから昼休憩を一時間とり、13時から四時間目と、五時間目が始まります。その時間は、リスニング、スピーキングを受けます。リスニング、スピーキングの授業では最後の授業のスピーチ準備の為にアメリカ人の学生に環境問題に関するインタビューもしたりしました。アメリカ人の環境に対することも考えさせられました。金曜日は一限からでアメリカの文化について

学びました。アメリカ人の学生が授業に参加をしてくれてアメリカ文化を教えてくださいました。日本文化とアメリカ文化の違いを学び、感じる事ができました。金曜日は一時間で終わりです。それからフリーの時間で、自分たちの好きなことをすることが出来ます。授業では、中間テストが何回かあります。評価は、70~79点がC評価です。80~89がB評価です。それから、90~100がA評価です。私たちが通っている国際情報とは違い、点数の評価の仕方が違いました。テストでは70点がC評価なので、一生懸命頑張りました。私たちは主に授業が終わった後は、課題を終わらせていました。または、夜になるといろいろのイベントが開催されます。私たちは気になるイベントがあると参加したりしていました。そういったイベントは金曜日の授業が終わると週末のイベントミーティングがあります。その時に、どんなイベントが開催されるのかスケジュールを貰います。イベントの中では、必ず参加しなければならないイベントも

あります。例えば、バレーボール観戦をしたり、フットボールゲーム観戦をしたり、強制参加だけでもたくさん楽しいイベントがありました。土日は学校が休みで授業は無いですが、毎日課題に追われていました。しかし、息抜きで私たちは街に出る事もありました。その為に、セーフライドといってシャトルバスが土日以外で出ています。平日の午後にスーパーへ出掛けて買い物をしたり、ご飯を食べに出掛けたりして楽しんでいました。そういった外の街に出てもアメリカの文化が学べます。ですか、土日に出かける時は、残念ながらバスが出ていないので、約40分かけて歩いてスーパーへ出掛けて買い物へ行ってました。とっても大変でした。

ESLの学生でカンザスシティまで出かける事もありました。スクールトリップです。唯一遠くまで行って買い物ができる時です。留学に行く前に先生に外泊する場合に外出届が必要だと言われていましたが、留学中に先生方が言う事が二転三転して私たちは戸惑っていました。メリービルを出るのに外出する

時に外出届が必要だという話になっていました。前もってはっきりした決め事をするべきでした。ですから、なかなかメリービルから外へ出かける事が出来なかったのですが、こういった、スクールトリップによって他のESLの学生と交流す機会が与えられて良かったです。最初の旅行は、9月頃で、動物園に行きました。グループに分かれて園内を散策しました。その後に、ショッピングモールに行き、買い物をしました。二回目のスクールトリップは、11月頃にカンザスシティに行きました。その日は最初に美術館に行き、世界の歴史的な物がたくさん見る事ができました。それからアウトレットモールのようなところで、買い物時間があり、たくさん服や欲しいものが買えました。そして、アメリカでは大変有名な祝日があります。それが、Thanksgiving Dayです。私たちはそれぞれFISファミリーのもとで5日間滞在しました。その前に、ESLの学生と私たちは日本人と5日間泊めてくれるホストファミリーの人たちが集まって顔合わせをしました。最初に会う時は緊張しましたが、ご飯を一緒に食べて打ち解けることが出来ました。それから、何度かThanksgiving Day前や後にも一緒に出かける機会がありました。Thanksgiving Dayではそれぞれの家庭での過ごし方は違いますが、例えば、私が過ごしたFISファミリーとThanksgiving Holidayは、初日は16:00から寮に迎えに来てくださり、最終日Thanksgiving Dayもとても暖かく迎えてくれました。Thanksgiving Dayは教会へ行き、初めての体験が出来ました。

